

偏食・拒否 | 背景整理と支援シート

「食べない」を問題行動としてだけ捉えず、感覚・身体・理解・経験・環境・コミュニケーションの情報から支援を考える。

※すべてを埋める必要はありません。原因を一つに決めず、受け入れにくさと受け入れやすさの条件から支援を考えます。

氏 名		確認日	
所属・学年		実施者	

1 現在の様子

移動能力	☐ 寝たきり	☐ 床移動可能	☐ 車椅子移動	☐ 歩行
コミュニケーション	☐ 聞き手効果段階 （快・不快）	☐ 意図的伝達段階 （非言語手段）	☐ 命題伝達段階 （ことば＋非言語手段）	☐ 言語期 （ことば）
摂取状況	☐ 経管栄養	☐ 全介助	☐ 部分介助	☐ 自力摂取
	受け入れにくい		受け入れやすい	
場面	☐ 学校・園・事業所（ ☐ 集団 ☐ 個別） ☐ 家庭 ☐ その他：		☐ 学校・園・事業所（ ☐ 集団 ☐ 個別） ☐ 家庭 ☐ その他：	
食べ物	☐ 特定の食品 ☐ 特定の食感 ☐ におい ☐ 温度 ☐ 初めての食べ物 ☐ その他：		☐ 好む食品・味・食感 ☐ 好む温度 ☐ その他：	
	〔具体的な食品・特徴〕		〔具体的な食品・特徴〕	
反応・発信・条件	☐ 口を開けない ☐ 顔を背ける ☐ 手で押す ☐ 泣く ☐ 固まる ☐ 着席しない ☐ 吐き出す ☐ 口にためる ☐ 大きな声・動きで伝える ☐ その他：		〔現在できている関わり・うまくいく条件〕 人・場所・量・提示方法・食具・声かけなど	
現在の支援				

2 背景・手がかりとして考えられること

① 感覚面	☐ 視覚 (見た目) ☐ 嗅覚 (におい) ☐ 味覚 (味) ☐ 聴覚 (周囲の音) ☐ 食感 ☐ 温度 ☐ 手や口に触れる感覚
② 身体・口腔	☐ 噛みにくい ☐ 飲み込みにくい ☐ 口に残る ☐ むせがある ☐ 疲れやすい ☐ 姿勢が崩れる ☐ 食具操作が難しい ☐ 痛み・体調・栄養・水分に気になること
③ 理解・見通し	☐ 何を食べるか分かりにくい ☐ 量が分かりにくい ☐ 終わりが分かりにくい ☐ 初めての食べ物不安 ☐ 「あと一口」で不安が強くなる ☐ その他:
④ 経験・環境	☐ 負担の大きい経験 (むせ・嘔吐・窒息・無理に食べるよう求められたなど) ☐ 周囲がにぎやか ☐ 急がされる ☐ 支援者との関係や対応によって様子が異なる ☐ その他:
⑤ コミュニケーション	☐ 拒否・休止・終了を伝えにくい ☐ 表情・視線・身体の動きに反応や発信がみられる ☐ 支援者が反応や発信に気づきにくい ☐ 支援者により捉え方が異なる ☐ その他:

3 整理と支援

注目する手がかり	[①・②・③・④・⑤]
活かしたい条件	
支援者が整えること	
試すこと・確認日	[方法・確認日]